

## ⑦ 中・高等学校英会話実践講座

国の英語教育改革を踏まえ、中・高等学校英語科教員を対象として実践及び演習を中心とした研修を実施し、英語力及び指導力の向上を図るために研修を行った。

第1回 平成27年6月30日(火)

授業者 伊丹市立松崎中学校 古谷 真紀子 教頭

テーマ 「生徒の活動量に焦点をあてた効果的な音読活動  
～ 授業規律と温かい交流をベースとして ～」



### 【内容】

#### 1 公開授業

学年・組 第2学年5組

単 元 Lesson 3 “Eco-Tourism”

指 導 者 古谷 真紀子 教頭

#### 2 研究協議

(1) 公開授業の振り返り

(2) 感想発表および質疑応答

①ペア学習の工夫について

→ペアリングは大切。教え合い、学び合いで学力を上げる

②日頃の取り組み

→「クラス力」を高めるような関わりを続けている。また、ノートチェックのシステムの中で予習の確認を行ったり、評価表や付箋を活用したりするなど、生徒が意欲的に学べる手立てを講じている

③音読について

→音読のペア学習は臨機応変に色々な活動を行っている。音読を続けて、並べ替えが良くなるようになった。今後は単語を正確に書けるようにすることが課題

(3) 情報交換

・テーマに沿って各学校の授業実践を発表

第2回 平成27年11月27日(金)

講 師 灘中・高等学校 木村 達哉 教諭

演 題 「生徒の発信力を育てる指導について」



### 【内容】

#### 1 発信力の指導

(1) 英語が話せるポイントはインプット量

(2) 教科書の単語や文法の順番ではなく、身近な表現や使える表現、必要な文法をどんどん教える

#### 2 スピーチ指導について

(1) スピーチにはコンテンツ（内容）が必要

(2) まずは日本語でしっかり考えて、日本語できちんと作文することを習慣づけることが大切

- 3 これからの英語授業は「知識」＋「考える力」
  - (1) 教員の英語力の向上のためのトレーニングが重要  
→英検やTOEIC等の受検機会を与えるだけでは伸びない
  - (2) 宿題や復習の出し方がポイント  
→家庭学習の仕方、英語の覚え方を教えること。授業中に宿題の2～3割を一緒にやり、続きを宿題に
- 4 基本的な英語の勉強法《1年間これを徹底する》
  - ・正しく読める、英語→日本語、日本語→英語、(日本語を見て)正しく書ける
- 5 力のつくメカニズム
  - (1) 授業(理解と成功体験)
  - (2) 家庭学習(復習と勉強)
  - (3) 授業(チェック)

### 第3回 平成28年2月25日(木)

講師 大阪教育大学 教授 吉田 晴世 氏

演題 「読解力を高めるための授業提案」



#### 【内容】

- 1 英語力の基礎とは何か
  - ・フラッシュカードの活用やポスター効果による環境設定、単語リストを活用した単語テストの実施などにより、単語力をつけさせることが大切
- 2 音読指導
  - ・Reading活動は、長文読解をするための大切な activity であり、多くの例文を読むことで、自然と英語が取り入れられ、SpeakingやWritingの際に正確に自己表現活動するための蓄えとなる
- 3 黙読指導
  - ・日常生活における読みの力や短時間に素早く読む力、情報獲得読みの力などがつくため、黙読の目的や方法をはっきりと指示して上手な黙読の仕方を指導することが大切。チャンク読み(意味のまとまりごとに区切り、指でなぞりながら読む)が有効
- 4 指導の実際について演習
  - ・20秒リーディング(音読サーキットメニューの中のペア活動「アナウンサー読み」)
  - ・パターンプラクティス(文の基本例を基に一部の単語を言い換え、繰り返し練習することによって英語を習得しようとするもの)